

2021 春のセミナーのご案内書

お子さんは「1、ものわかりが速いですか？」

昔から「一を聞いて十を知る」というように、飲み込みの早いのは頭の良い証拠です。「2、物事をよく覚えていますか？」物覚えの良いことも勉強に有利ですから、頭の良い証拠と言われています。

「3、何かを作ったり、工夫することが好きですか？」自発的に物事に取り組み、必ず工夫が必要であったり、新しいことを思いついたりします。それが、創造力につながる大切な能力です。「4、何ごとにもじっくり考え抜くようですか？」よく考えないで、安易に走るようではこれから先が心配です。物事を粘り強く取り組み、順序を追って正しい結果を考え出す能力が大切です。「5、どれが最も良いか判断していますか？」良いこと悪いことのけじめ、本当に良いものを注意深く検討できる能力が必要です。本当のしつけは、この能力に支えられて身につくことです。お気づきと思いますが、1から5は全て知能の働きです。1は認知、2は記憶、3は拡散思考、4は集中思考、5は評価です。この中でどれが良ければいいということではありません。と言うのも、問題解決や創造性思考にはこれらがそろって働くことが必要だからです。社会が複雑になり能力も多様になると、賢い人にもつまらないところがあったり、あまり出来の良くない人に光るところがある。時代が変われば.... (続きは次回で)

実施要項

日 程 / 3月22日から4月4日まで
開催時間 / 午前 10時30分から11時50分 (80分)
午後 12時30分から13時50分 (80分)
(年少児は午後の50分) 少人数制で実施
対象年齢 / 年少児から中学生まで (レゴは年中から)
費用 / 4,400円 (内税) 在籍児 4,000円 (内税)

PayPayでお支払いいただくとポイントの還元があります。
日によっては午後2時以降のクラスがある場合があります。
午前午後を通して受講する場合、お弁当等持たせてください。

ギルフォード

セミナーコース案内

学習能力コース

国語領域と算数領域の課題

「学習能力」とは、学習に必要な能力のことで、論理的思考力や推察力、分析力、読解力、表現力、コミュニケーション力などがこれにあたります。これらの能力が高いと集中して効率よく勉強に取り組みます。これら「学習能力」が高くなる子は、幼い頃からの読書や工作などの「知的作業」が身近なものだったと思います。「学習能力」は、後天的な素質のようなものですから、幼少期から楽しんで問題に取り組める「きっかけ」を上手に作る事が大切です。まず興味をもたせ、最大限に思考力を発揮させる「学習能力」コースは、年少児から小学生まで、それぞれの学齢に対応して課題が編成されています。

例えば、こんな課題。幼少期のお絵かきは、手指の器用さやお話上手のきっかけを作るなど、大変重要です。そこで、○や△などの型定規を与えて色々な指定図形を完成させます。初めは苦労していても、図形の重なり具合が複雑になる頃には、工夫して取り組めるようになります。これを苦手のままにしておくと算数や数学、プログラミングなどで苦労するでしょう。この課題の主因子は図形の集中思考です。

創造性を刺激する

プレイフルプロジェクト

みんなが知っているレゴブロックやレゴのロボットを使ってエンジニアリングの基礎を学びます。小学生は、コンピューターを使ってプログラミングも経験できます。作品などは持ち帰れませんが、終了後に写真をとっていただくことは可能です。

今期のプレイフルプロジェクトの課題は以下の通りです。

-
- 年中児 / 遊園地を作ってお客さんを呼ぼう。
- 年長児・小学1年生 / 「動物村の駅長さん」線路をつなげ電車を走らせます。
- 初心者 / コンピューターでプログラミングの初歩を学びます。
- 経験者 / センサーに反応する動くロボットを作ろう
- 高学年以上は経験値に対応した課題を実施します。
- 初めての場合でも安心してください。お子さんと相談して対応します。